

せいしょ いじん 聖書の偉人

ネヘミヤ

なまえ いみ しゆ
名前の意味：「主のなぐさめ」

し
知っていたかな？ ネヘミヤは、ペルシャのアルタシャスタ王の給仕役だったんだ。
むかし い ほう きゅうてい ひじょう しんらい くらい たか
昔は、給仕役と言えば、たいてい、王の宮廷では非常に信頼されている、位の高い
やくしよく
役職だった。宮廷への陰謀に対抗するため、給仕役はしばしば、王に献上された
た もの どくみ
ワインや食べ物の毒見をした。ネヘミヤは、王の宮廷内で信頼される人物だった。
おうさま じょうへき さいけん のぞ
だから王様は、ネヘミヤがエルサレムの城壁を再建するために望むことはすべて、
じゆう
自由にさせてあげたんだよ。

おどろ じじつ じょうへき さいけん よう にっすう にち
驚くべき事実：エルサレムの城壁を再建するのに要した日数は52日だったけれど、
それはネヘミヤだけでやったのではなく、じゅくれん ろうどうしゃ いがい こうじ むかん
熟練した労働者以外にも、工事に無関
けい しよくぎょう ぎじゅつ も じんたち きょうりよく き だい しやう
係の職業や技術を持つユダヤ人達が協力してくれたんだ。ネヘミヤ記の第3章
には、エルサレムの城壁の再建にさんか ひとたち なまえ か
参加した人達の名前が書かれているよ。

かれ ところ
彼のすごい所：ネヘミヤは、祖先の町の荒れ果てた様子に深く心を痛めていた
けれど、それを見過ごしにはしなかったということ！ 彼は計画を立て、実行した。
かみさま じ ぶん み す くれ けいかく た じつこう
神様が自分に示すように示された重要な仕事を、誰にも邪魔させなかったんだ。
ちやうしやう きやうはく ちやくちやく しごと すず いっぽう て じょうへき
嘲笑され、脅迫されながらも、彼は着々と仕事を進めた。一方の手では城壁を
きず ひとたち みちび いっぽう て つるぎ も こうじ すず
築く人達を導き、もう一方の手では剣を持って、工事を進めたんだよ。

きみ かみさま こうどう お こうご かつ
君にもできる：神様のための行動を起こすため、神様に、心に語りかけてもらおう。

